

静岡県保険医協会 医科歯科連携研究会

骨粗鬆症に対する積極的治療介入と継続の意義

超高齢社会となり、全国で診断・治療を受けていない「かくれ」骨粗鬆症推定患者数は1000万人以上と推計されており、将来多くの骨粗鬆症性骨折で介護が必要となる数が増大することが懸念される。診断・治療介入は地域での啓発活動や検診に頼らざるをえない。そこで我々は愛知県東栄町で2012年から運動器検診を行い、骨粗鬆症の積極的治療介入を行ってきた。この治療介入から治療継続にあたっては医療倫理の原則に基づいて、患者の背景を考慮し、治療効果を最大限にするとともに副作用のチェックを怠ってはいけない。特に骨吸収抑制剤を投与する際には、治療継続のメリットが顎骨壊死や非定型骨折などのデメリットを十分に凌駕しているかを個々の症例で確認し、それを患者さんによく理解していただいた上で治療継続することが求められる。

(講師より)

【講師】 星野 裕信 先生

(浜松医科大学医学部附属病院 整形外科 病院教授)

【日時】 5月15日 (水) 19:20 ~ 20:20

(製品紹介 19:20~19:30 「リクラスト点滴静注液5mg」 旭化成ファーマ)

【会場】 あざれあ 5F 501会議室

(静岡駅徒歩7分 静岡市駿河区馬淵1丁目17-1)

※参加者向け駐車場はありませんので、お近くのコインパーキング等をご利用下さい。

【対象】 医師、歯科医師

【参加費】 無料

共 催 旭化成ファーマ株式会社

申込書 FAX でご返送ください 054-281-7473

◇5/15 医科歯科連携研究会「骨粗鬆症」に参加する () 人

医療機関名

会 員 名 _____ 市・町 _____